

よろんずかん
与論図鑑

貝殻 サンゴ



シャコガイ

日本の生息地：沖縄などの温かい海のサンゴ礁や浅い海に住んでいる

主な種類：オオシャコガイ、ヒレシャコガイ、ヒメジャコガイなど、日本には6種類ほどがいる



スিজガイ

お守りとしての文化：沖縄などの地域では「水」の字があとから転じて「火事（火除け）」を防ぐほか、全般的な魔除けとして玄関や門に飾る風習がある



ホシキヌタ

大きさ：成体で約5～7cm(最大10cmに達することもある)。
星状の斑点：濃い茶色の地肌に、雪が舞うような、あるいは星屑のような白い円形の模様が全体に広がっている



サンゴ

海洋生物の25%以上が住処や産卵の場として利用しており、「海のゆりかご」と呼ばれています。さらに、地球上の森林よりも多くの二酸化炭素を吸収する役割も担っている

植物



ハイビスカス

特徴: 大輪で鮮やかな花や多彩な色変わりが魅力ですが、暑さや寒さにはややデリケートで、日当たりが良い場所ほど、花付きが良くなり色も鮮やかになる



サンダンカ

特徴: 直径2~3cmの小さな花がドーム状に密集し、全体でひとつの大きなまりのような花房(直径5~10cm)をつくります。暑さに強く寒さに弱いいため、冬は室内管理が必要になる

果物



島バナナ

一般的なバナナの約半分ほどの大きさ(10~15cm)でずんぐりと太短く、濃厚な甘みとフルーティーな酸味、もっちりとした食感



マンゴー

トロピカルで濃厚な強い芳香がある。糖度が15度以上に達するものが多く、非常に甘い。果肉は緻密でなめらか



パイナップル

下部ほど甘く、収穫後に追熟しないため 買ってすぐが食べ頃疲労回復効果もある

海



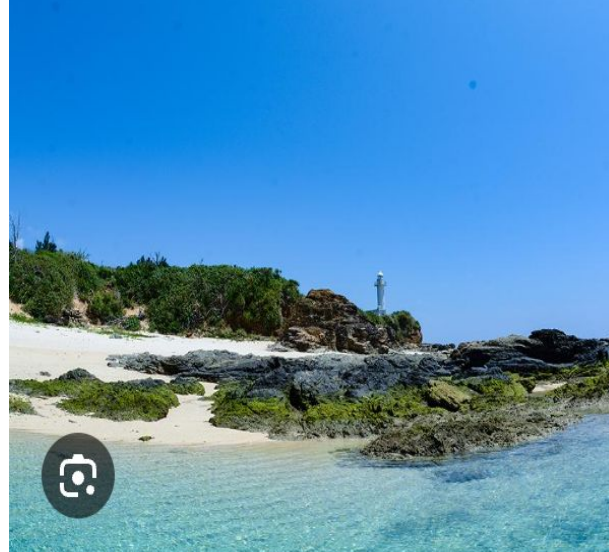
百合ヶ浜

日や時間によって砂浜の大きさや現れる位置が変わり、満潮になると海の中に消えてしまう百合ヶ浜の砂は星の形をした「星砂」が混ざっている



茶花海岸

砂浜にポツンと立つ階段付きの白い大きなステージ状オブジェがあり、夕方が近づくと綺麗なサンセット(夕日)を眺められます。



赤崎海岸

サンゴや魚が多く、シュノーケリングに最適で、綺麗に見える日の出から「サンライズビーチ」とも呼ばれる

魚 カメ



カクレマノミ

イソギンチャクなどに好んで住み着きます。体表にある粘液のおかげでイソギンチャクの毒を受けないため、外敵から身を隠す安全な隠れ家として利用する



ナンヨウハギ

尾の付け根(尾柄部)に鋭いトゲがあり、敵から身を守るために使います。触ると危険な場合もある危険を感じると、枝状サンゴや岩の隙間に素早く身を隠します。寝るときに横向きや変な格好になることもあります。



イシダイ



ヤマブキベラ

大きくなるとオスに性転換し、青や緑が混ざった「超カラフルな姿」に変わるとも好奇心が強く、人が砂を掘ると「エサがあるかも！」と近づいてくる



ウミガメ

水の抵抗を減らすため薄く滑らかですが、頭や手足を甲羅に隠せません。磁場や太陽の位置をコンパス代わりにして海を移動し、産卵は自分が生まれた砂浜に必ず戻る

方言

トートウガナシ

いだうあーちたばーり

はーい

うーがなびら

たびんちゅ

やー

わらび

あっちゃーどー

ユンヌ

ありがとう

ようこそ、いらっしやい

こんにちは、おはよう

こんばんは

旅人、観光客

あなた、お前

子供

また明日ね～

与論の人

方言

標準語